



あくなき創造で持続可能な社会を

サトーホールディングス株式会社

**2018年3月期
第3四半期決算説明資料**

証券コード：6287

2018年2月9日（金）

決算ハイライト

➤ 自動認識ソリューション事業（コア事業）

➡ **最高益を目指して順調に進捗**

日本： 利益率強化策の効果が拡大し、前年・計画を大きく上回って進捗

海外：

- ・ 原点回帰の取組みが進み、過半のベース事業で回復基調が継続中
- ・ プライマリー専業は、Okil社が為替・設備増強等により減益継続

➤ 素材事業 ➡ 研究開発がほぼ計画通りに進捗

事業セグメント別売上高及び営業利益

(単位：百万円)

		FY2017 Q3累計	FY2016 Q3累計	前年同期比		
				除く為替		
自動認識 ソリューション事業	売上高	84,801	78,662	107.8%	105.0%	
	営業利益	5,823	4,373	133.2%	129.2%	
	日本	売上高	52,971	49,765	106.4%	106.4%
		営業利益	4,059	2,985	136.0%	133.6%
	海外	売上高	31,829	28,896	110.1%	102.6%
		営業利益	1,763	1,387	127.1%	119.8%
素材事業	売上高	215	77	278.9%	278.9%	
	営業利益	▲1,083	▲158	--	--	
連結 (消去後)	売上高	85,016	78,739	108.0%	105.2%	
	営業利益	4,675	4,288	109.0%	105.0%	

連結業績

(単位：百万円)

	FY2017 Q3累計	FY2016 Q3累計	増減	%
売上高	85,016	78,739	+6,276	108.0%
営業利益	4,675	4,288	+386	109.0%
営業利益率	5.5%	5.4%	+0.1pt	--
経常利益	4,381	4,313	+68	101.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,565	2,725	+840	130.8%
実効税率 ※1	43.1%	35.8%	+7.3pt	
EBITDA ※2	8,821	8,105	+715	108.8%

FY17 Q3累計為替レート（期中平均）：111.68円/USD, 128.55円/EUR （FY16 Q3累計同為替レート：106.59円/USD, 117.97円/EUR）

※1 実効税率：FY17 Q3累計は、Argox社のれん追加減損やDataLase社等一部グループ会社赤字の影響により上昇

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

・減価償却 FY17 Q3累計： 3,178百万円

FY16 Q3累計： 2,934百万円

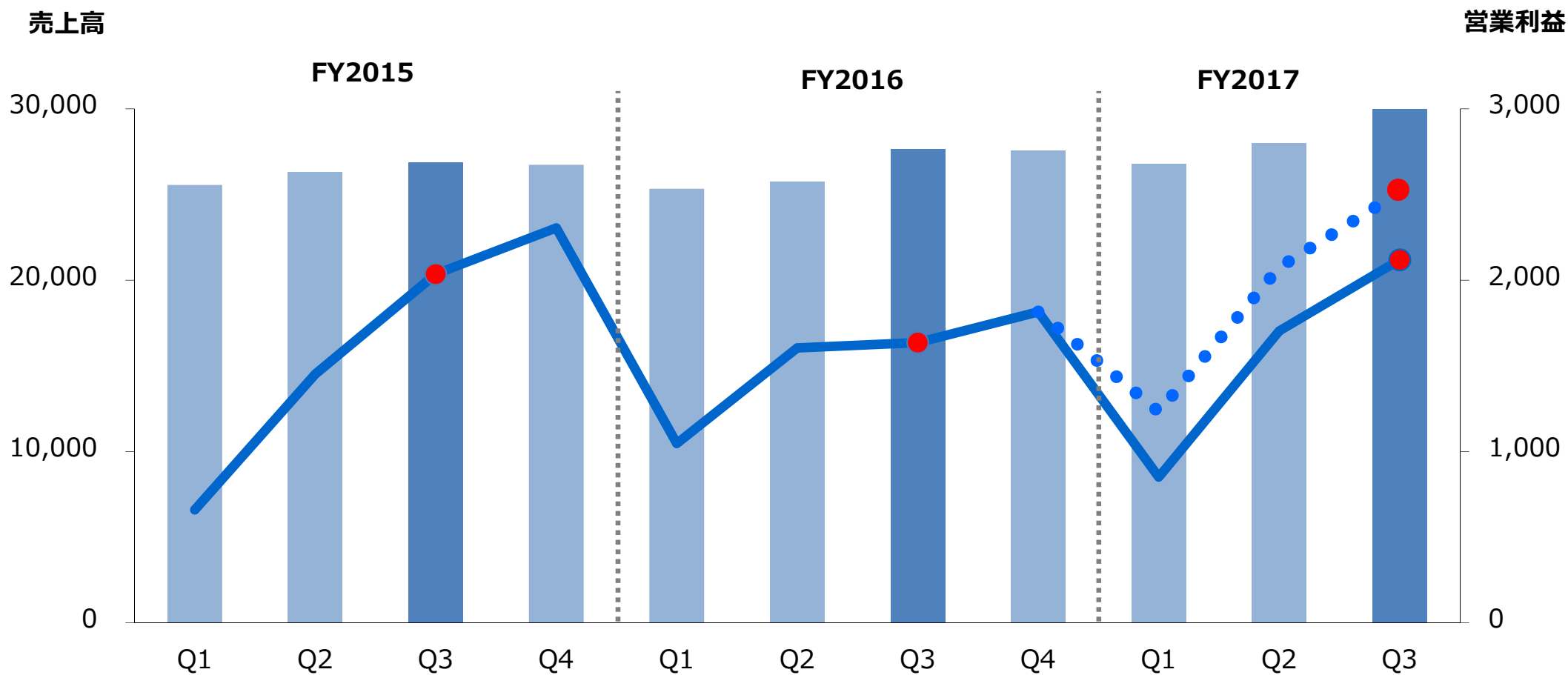
・のれん償却 FY17 Q3累計： 967百万円（DataLase社 465百万円 他）

FY16 Q3累計： 881百万円

四半期別 連結業績推移

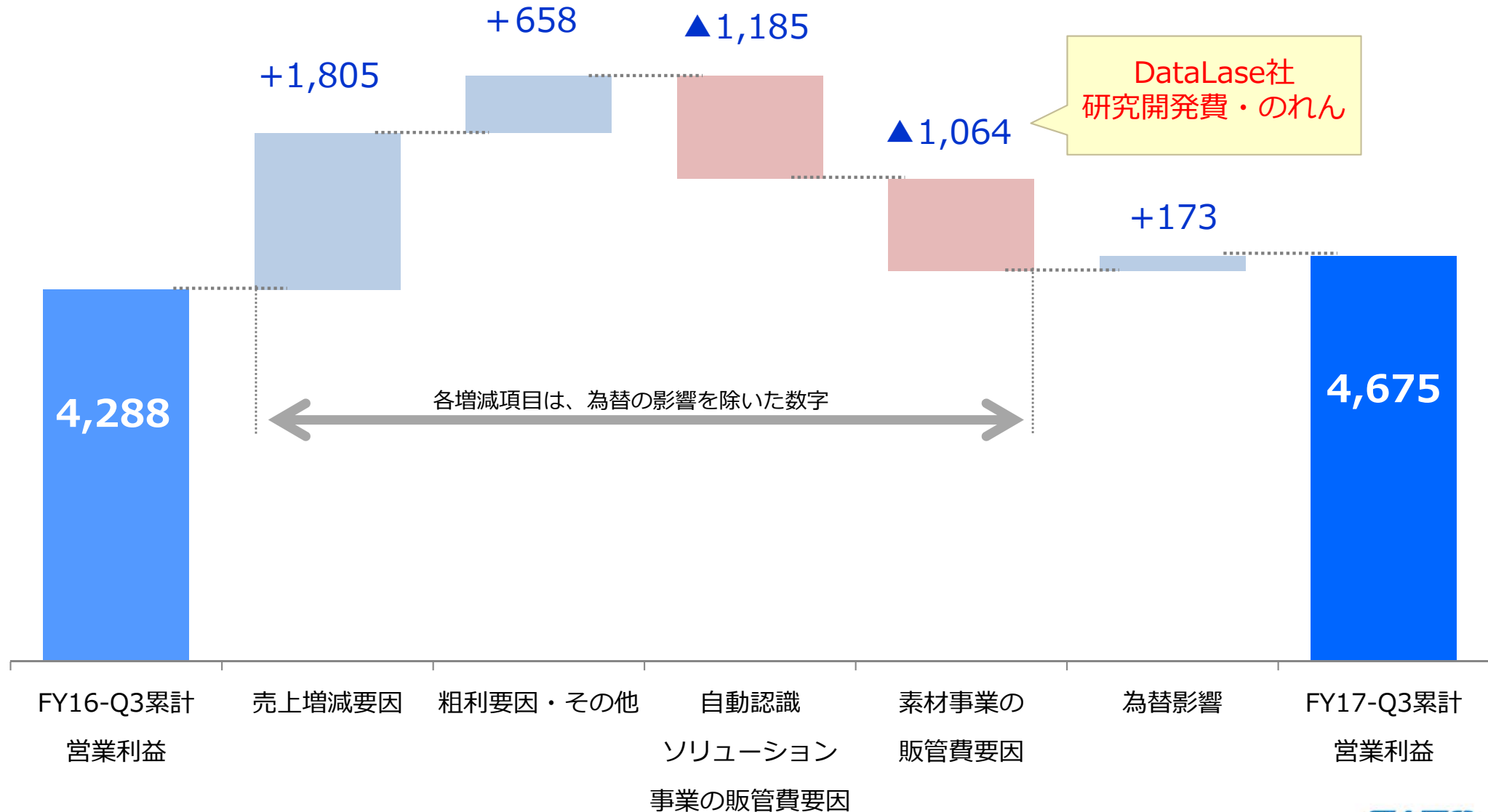
(単位：百万円)

■ 売上高 — 営業利益 ●●● 営業利益（自動認識ソリューション事業。素材事業除く）



連結 営業利益前年との比較

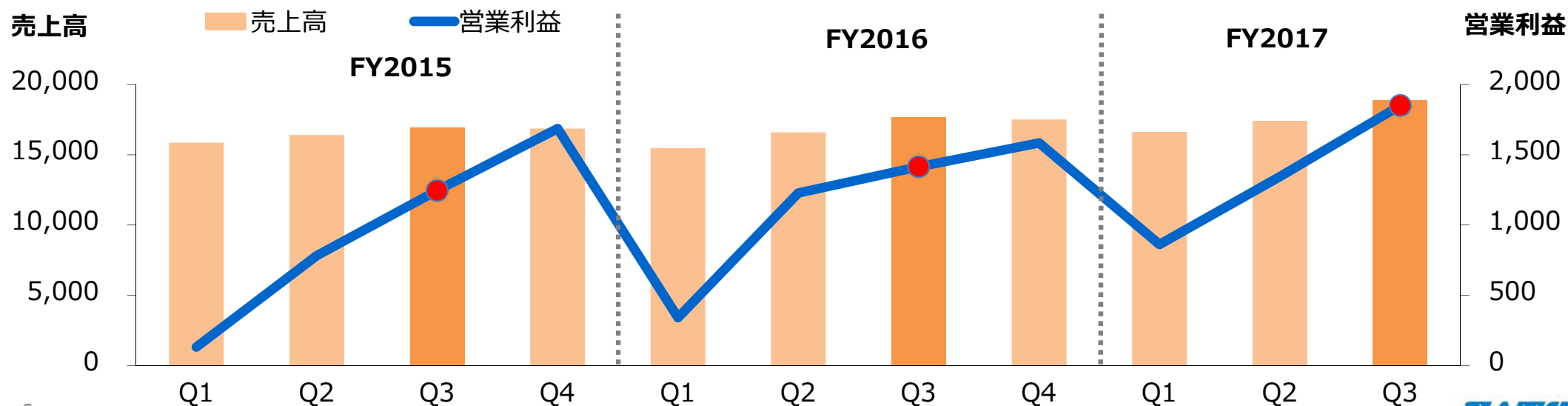
(単位：百万円)



自動認識ソリューション事業（日本）

- 計画を上回って進捗。第3四半期も前年同期比増収増益。全ての市場でビジネスが底堅く推移
- 主にメカトロ好調により、営業利益率が1.7ポイント改善

(単位：百万円)	FY2017	FY2016	増減	
	Q3累計	Q3累計		%
メカトロ売上高	20,121	17,796	+2,325	113.1%
サプライ売上高	32,849	31,969	+880	102.8%
外部売上計	52,971	49,765	+3,205	106.4%
粗利額	25,395	22,713	+2,681	111.8%
粗利率（外売）	47.9%	45.6%	+2.3pt	--
営業利益	4,059	2,985	+1,073	136.0%
営業利益率	7.7%	6.0%	+1.7pt	--



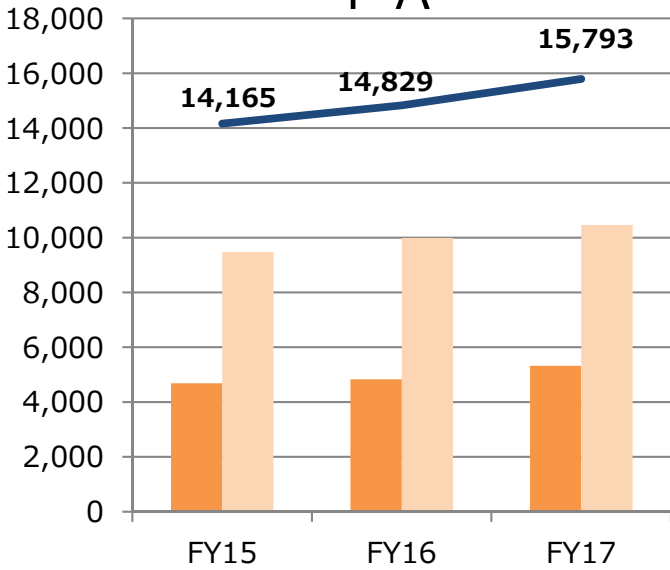
自動認識ソリューション事業（日本）

市場別売上高推移（Q3累計）

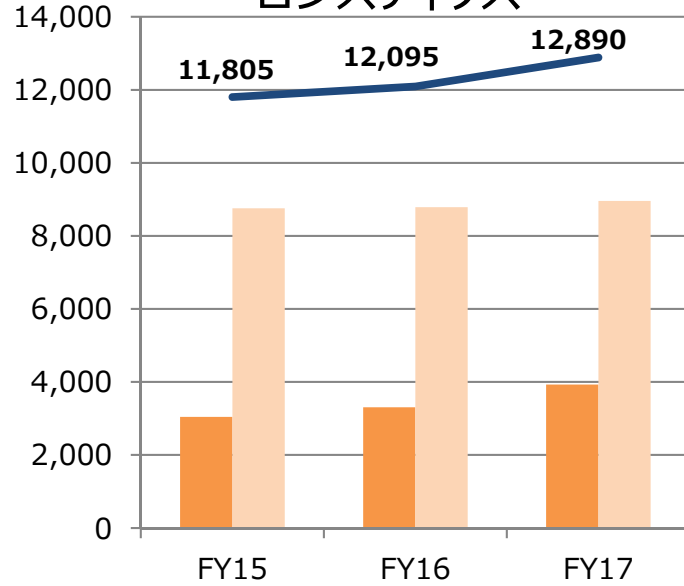
（単位：百万円）

■：メカトロ ■：サプライ —：売上計

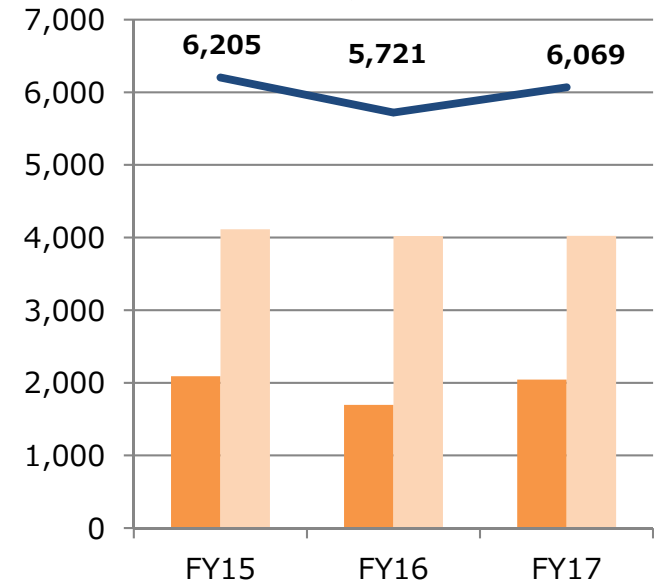
F A



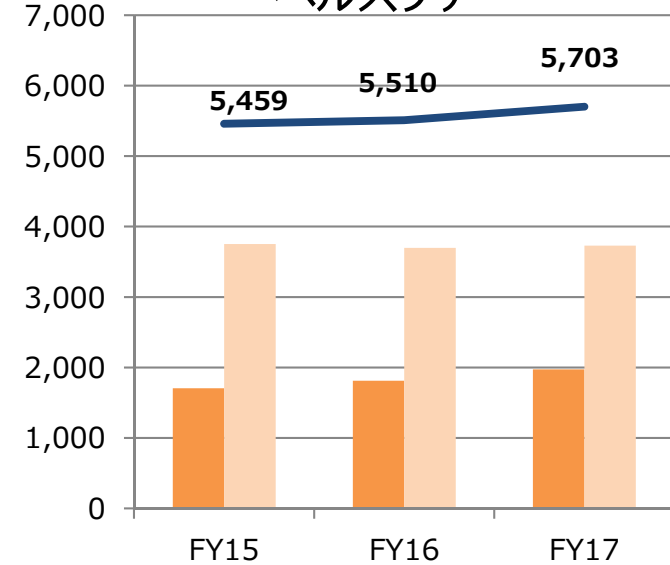
ロジスティクス



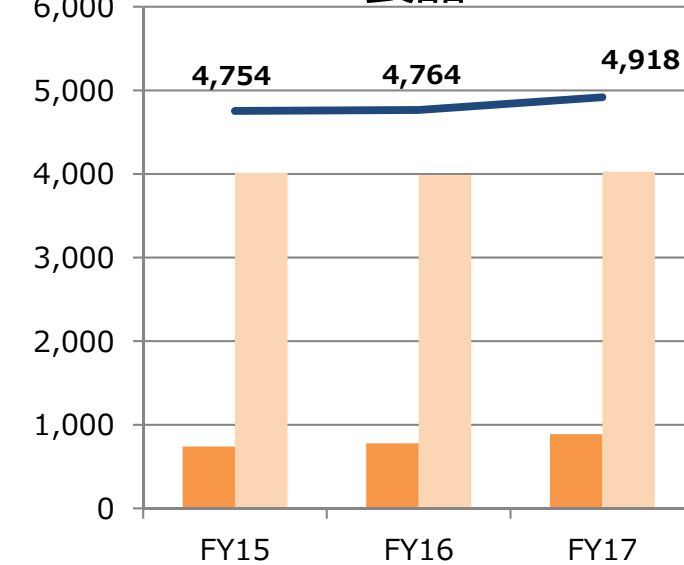
リテール



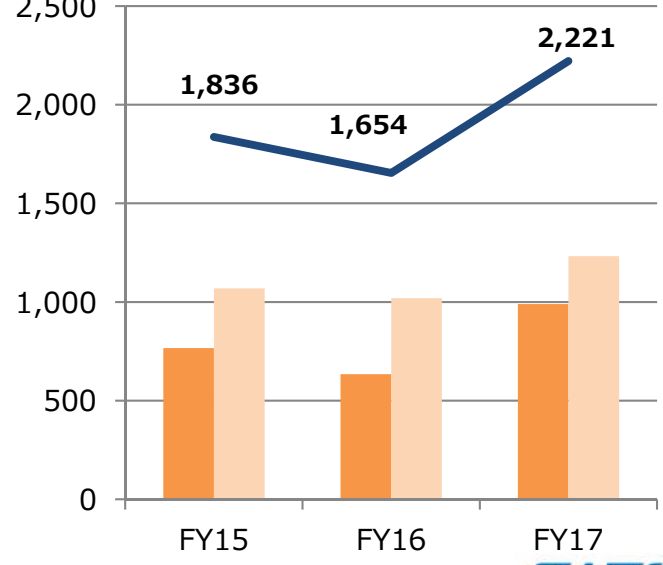
ヘルスケア



食品

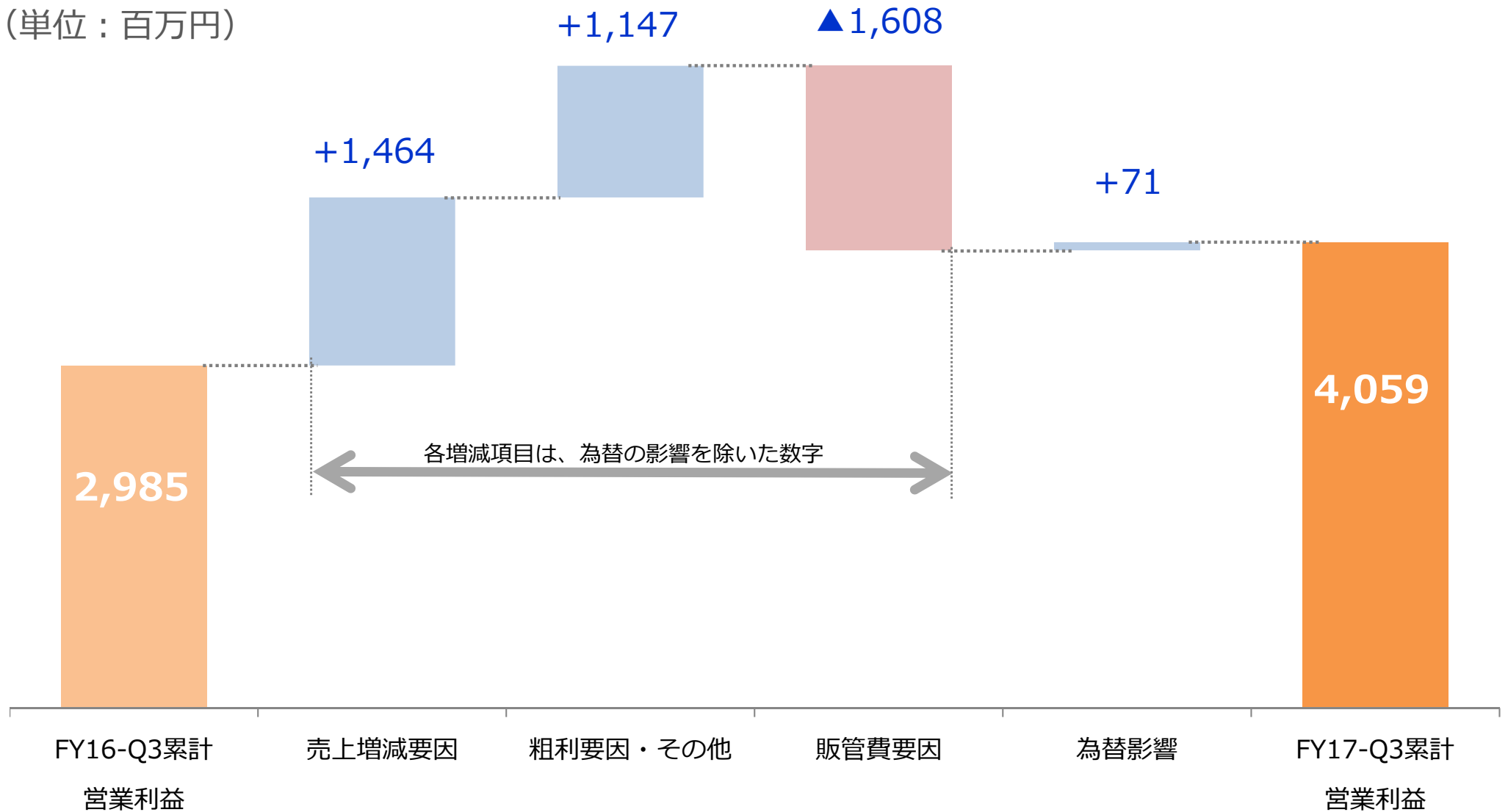


公共



自動認識ソリューション事業（日本） 営業利益前年との比較

(単位：百万円)

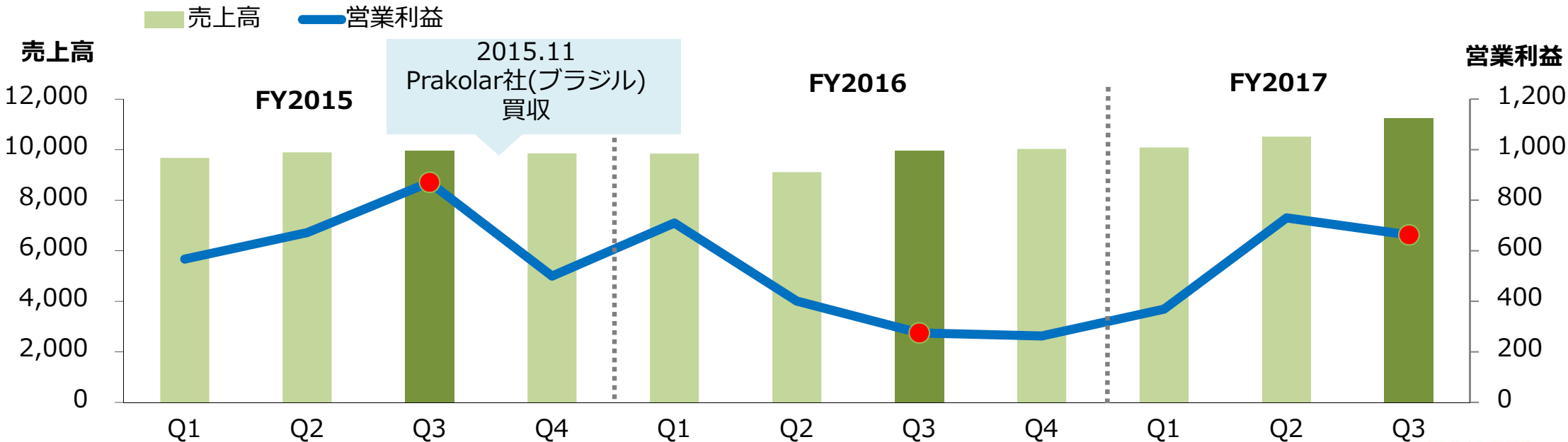


自動認識ソリューション事業（海外）

➤ 好調なベース事業が、苦戦するプライマリー専門をカバーし、増収増益

(単位：百万円)

	FY2017	FY2016	増減	増減	
	Q3累計	Q3累計		%	除く為替
売上高	31,829	28,896	+2,932	110.1%	102.6%
粗利額	11,917	10,924	+993	109.1%	--
粗利率（外売）	37.4%	37.8%	▲0.4pt	--	--
営業利益	1,763	1,387	+376	127.1%	119.8%
営業利益率	5.5%	4.8%	+0.7pt	--	--

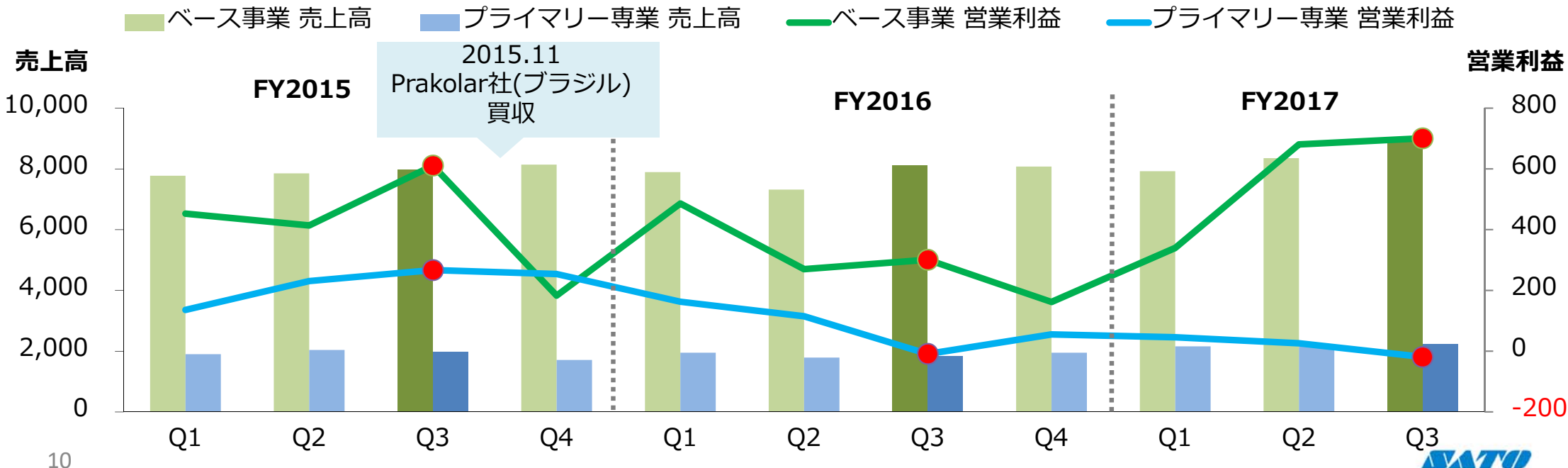


自動認識ソリューション事業（海外－内訳）

- ベース事業：米州、アジア・オセアニアは増収増益。欧州は増収減益
- プライマリー専業：為替影響と事業拡大のための生産能力拡充投資により、Okil社で減益継続

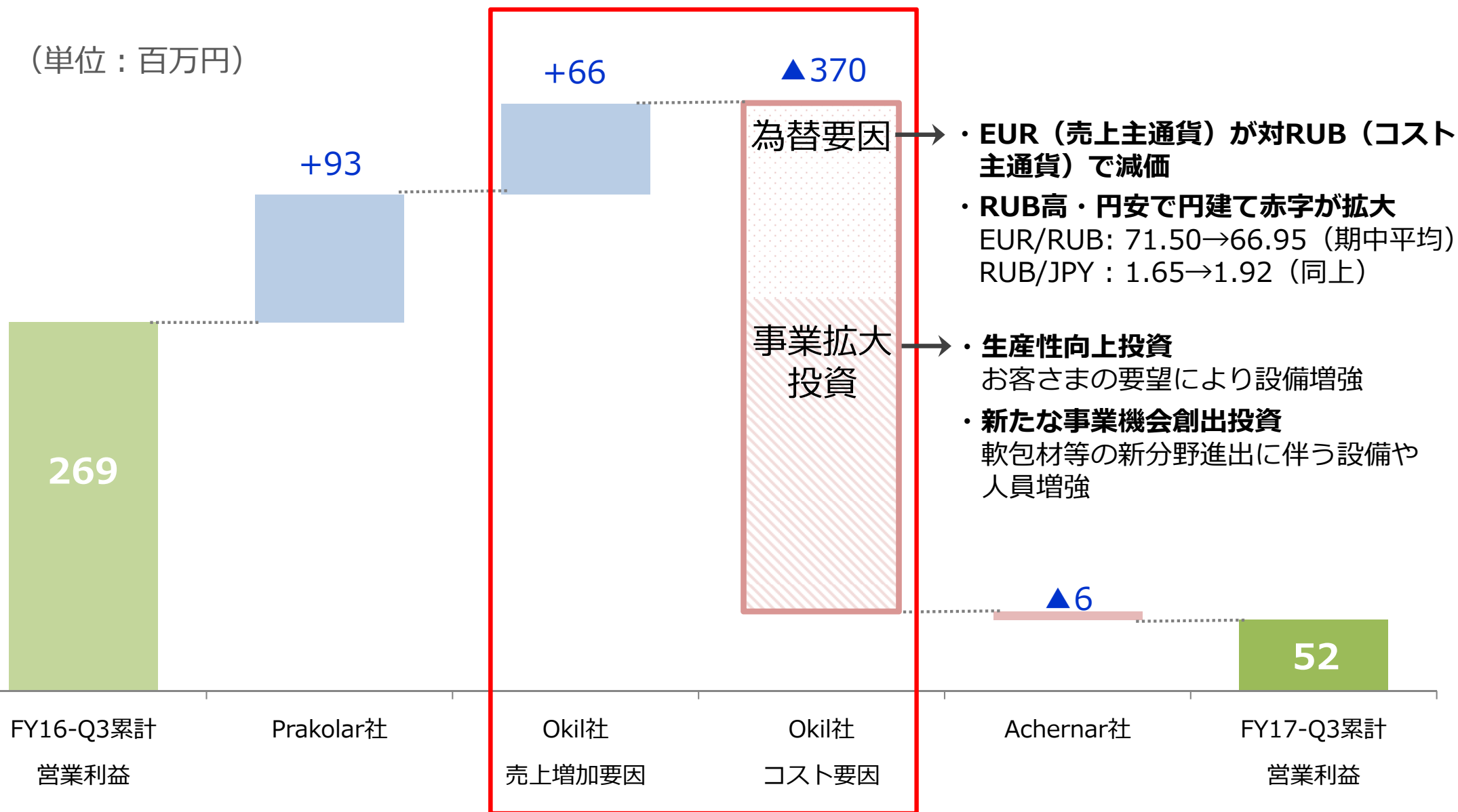
(単位：百万円)

		FY2017	FY2016	増減	%	除く為替
		Q3累計	Q3累計			
ベース事業	売上高	25,268	23,332	+1,936	108.3%	102.1%
	営業利益	1,724	1,058	+665	162.9%	153.4%
プライマリー専業	売上高	6,561	5,564	+996	117.9%	105.0%
	営業利益	52	269	▲216	19.6%	19.0%
海外消去	営業利益	▲13	58	▲72	--	--



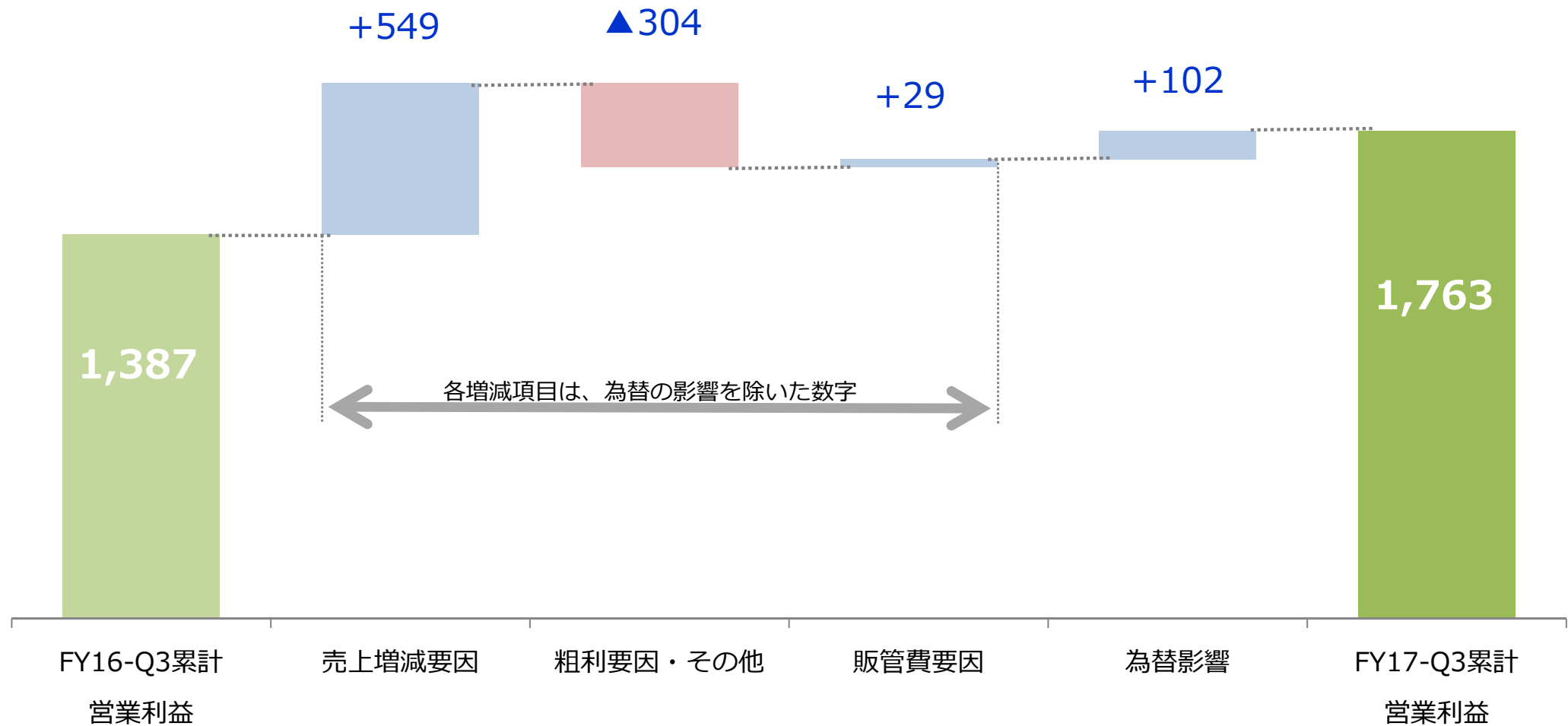
自動認識ソリューション事業（海外プライマリー専業） 営業利益前年との比較-Okil社要因分析

(単位：百万円)



自動認識ソリューション事業（海外） 営業利益前年との比較

(単位：百万円)

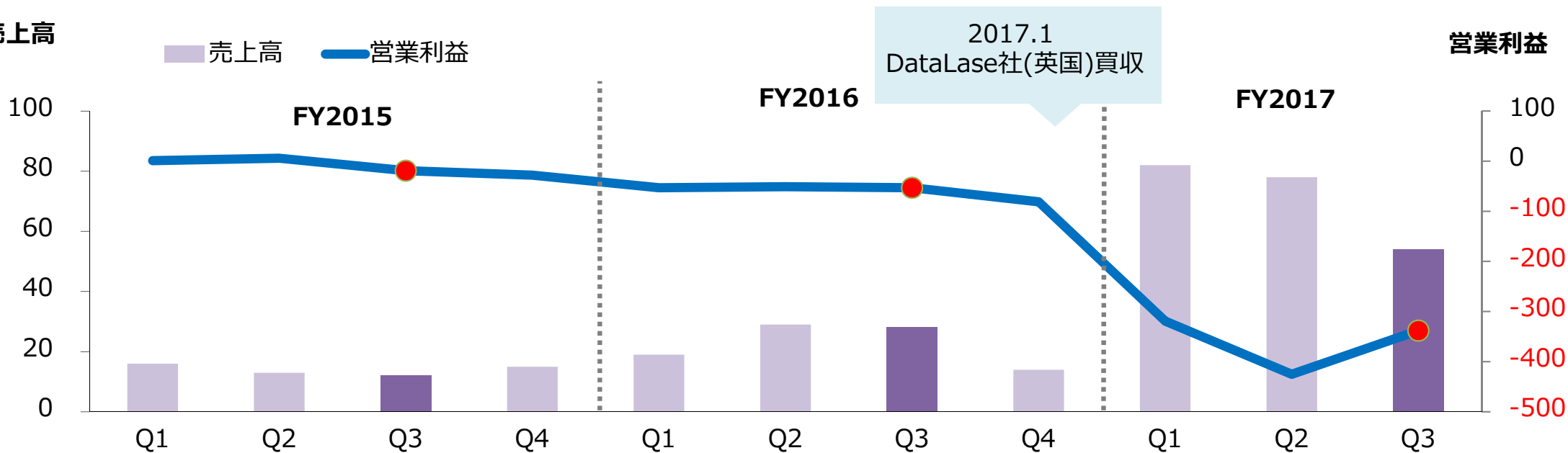


素材事業

➤ DataLase社がほぼ計画通りに研究開発を推進

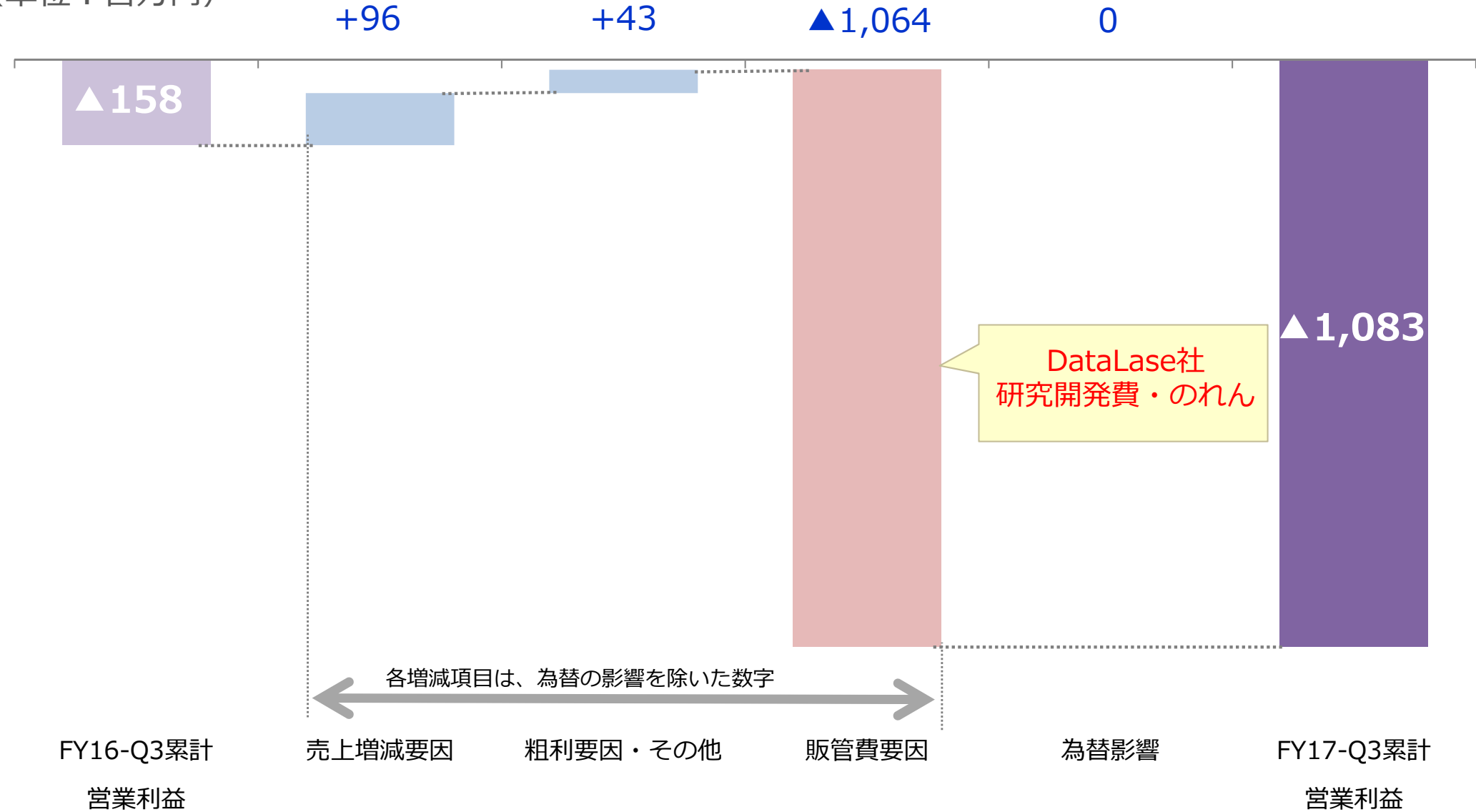
(単位：百万円)	FY2017	FY2016	増減	
	Q3累計	Q3累計		%
売上高	215	77	+138	278.9%
粗利額	149	11	+138	1307.4%
粗利率 (外売)	69.7%	14.9%	+54.8pt	--
営業利益	▲1,083	▲158	▲925	--
営業利益率	--	--	--	--

売上高



素材事業 営業利益前年との比較

(単位：百万円)



2017年度連結業績計画 (1/2)

	Q3累計		Q4		通期	
	実績	前年比	計画	前年比	計画 <small>()は昨年11/2時点</small>	前年比
(単位：百万円)						
売上高	85,016	108.0%	28,483	103.3%	113,500	106.8%
営業利益	4,675	109.0%	1,524	84.0%	6,200 (6,000)	101.6%
経常利益	4,381	101.6%	1,518	136.4%	5,900 (5,800)	108.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,565	130.8%	934	188.5%	4,500	139.7%

<参考>

EBITDA ※	11,296	←2016年度通期	11,600 (11,400)	102.7%
-----------------	--------	-----------	--------------------	--------

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

FY17 想定レート : 111円/USD, 130円/EUR

FY17 Q3累計為替レート (期中平均) : 111.68円/USD, 128.55円/EUR

FY16 通期為替レート (期中平均) : 108.34円/USD, 118.74円/EUR

2017年度連結業績計画 (2/2)

■ 通期営業利益予想修正の要因

6,200百万円 (昨年11/2時点計画: 6,000百万円)

(国内)

- ・ 業績は好調に進捗
- ・ 但し、Q4は前年同期および今期計画並みの売上を想定しているため、営業利益は計画並みに留まる

(海外)

- ・ ベース事業で回復基調続くが、商談遅延等により一部下振れリスクあり

(素材)

- ・ 研究開発費が予算を若干下回って着地見込み

Appendix

- | | |
|-----------|---------|
| ①旧セグメント基準 | P18～P24 |
| ②用語集 | P25～P28 |
| ③事業セグメント | P29 |

連結業績（内訳）

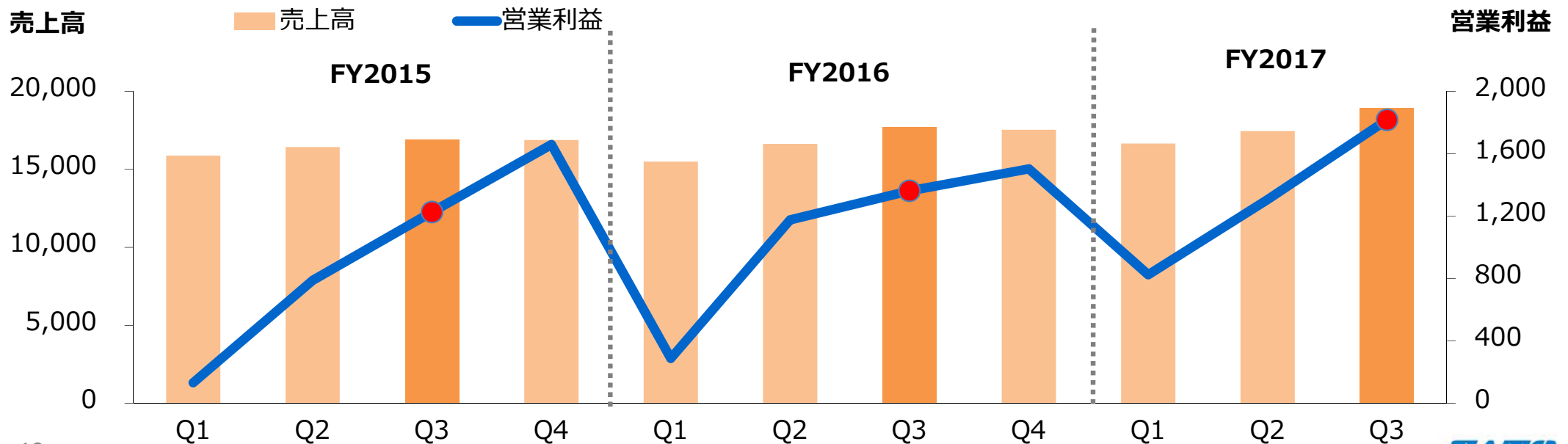
(単位：百万円)

		FY2017	FY2016			
		3Q累計	3Q累計	増減	%	除く為替
日本	売上高	53,031	49,843	+3,188	106.4%	106.4%
	営業利益	3,948	2,827	+1,121	139.6%	137.1%
北米	売上高	8,156	8,019	+136	101.7%	97.1%
	営業利益	336	▲18	+354	--	--
南米	売上高	2,562	2,112	+450	121.3%	117.8%
	営業利益	163	80	+83	204.5%	193.5%
欧州	売上高	10,856	9,196	+1,659	118.0%	106.4%
	営業利益	▲906	547	▲1,453	--	--
アジア・ オセアニア	売上高	10,409	9,568	+841	108.8%	101.9%
	営業利益	1,210	790	+420	153.1%	145.0%
海外	売上高	31,985	28,896	+3,088	110.7%	103.2%
	営業利益	804	1,400	▲595	57.4%	50.2%
消去	営業利益	▲77	61	▲138	--	--
連結	売上高	85,016	78,739	+6,276	108.0%	105.2%
	営業利益	4,675	4,288	+386	109.0%	105.0%

日本

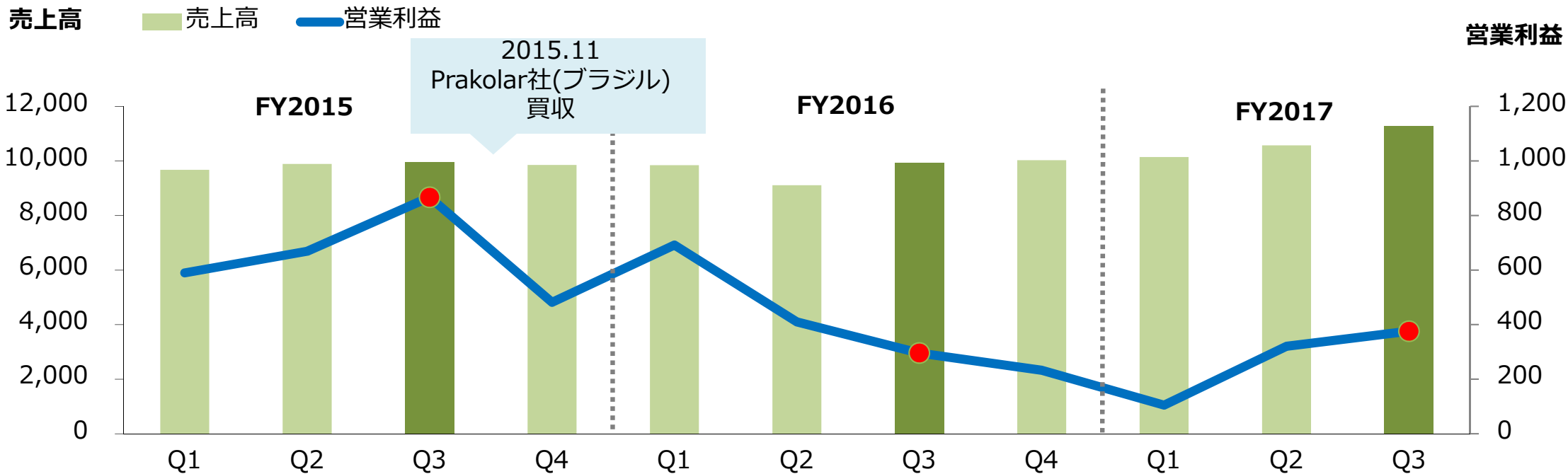
(単位：百万円)

	FY2017	FY2016	増減	
	3Q累計	3Q累計		%
メカトロ売上	20,121	17,796	+2,325	113.1%
サプライ売上	32,909	32,046	+862	102.7%
外部売上計	53,031	49,843	+3,188	106.4%
粗利額	25,400	22,718	+2,681	111.8%
粗利率 (外売)	47.9%	45.6%	+2.3pt	--
営業利益	3,948	2,827	+1,121	139.6%
営業利益率	7.4%	5.7%	+1.8pt	--



海外

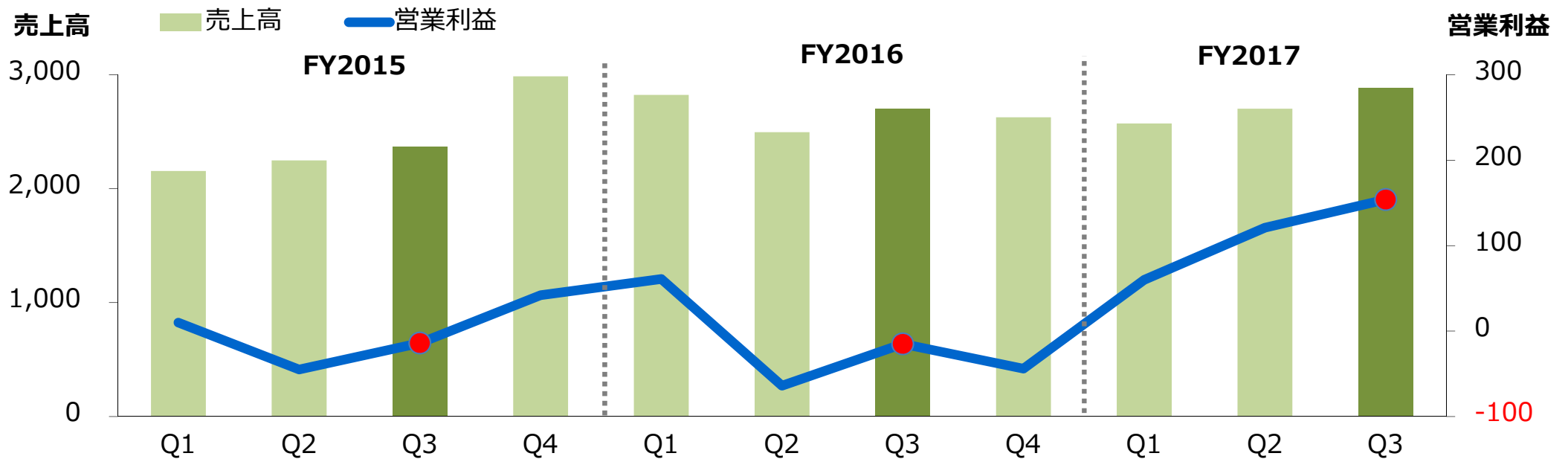
(単位：百万円)	FY2017	FY2016	増減		
	3Q累計	3Q累計		%	除く為替
売上	31,985	28,896	+3,088	110.7%	103.2%
粗利額	12,025	10,935	+1,089	110.0%	--
粗利率 (外売)	37.6%	37.8%	▲0.2pt	--	--
営業利益	804	1,400	▲595	57.4%	50.2%
営業利益率	2.5%	4.8%	▲2.3pt	--	--



北米

(単位：百万円)

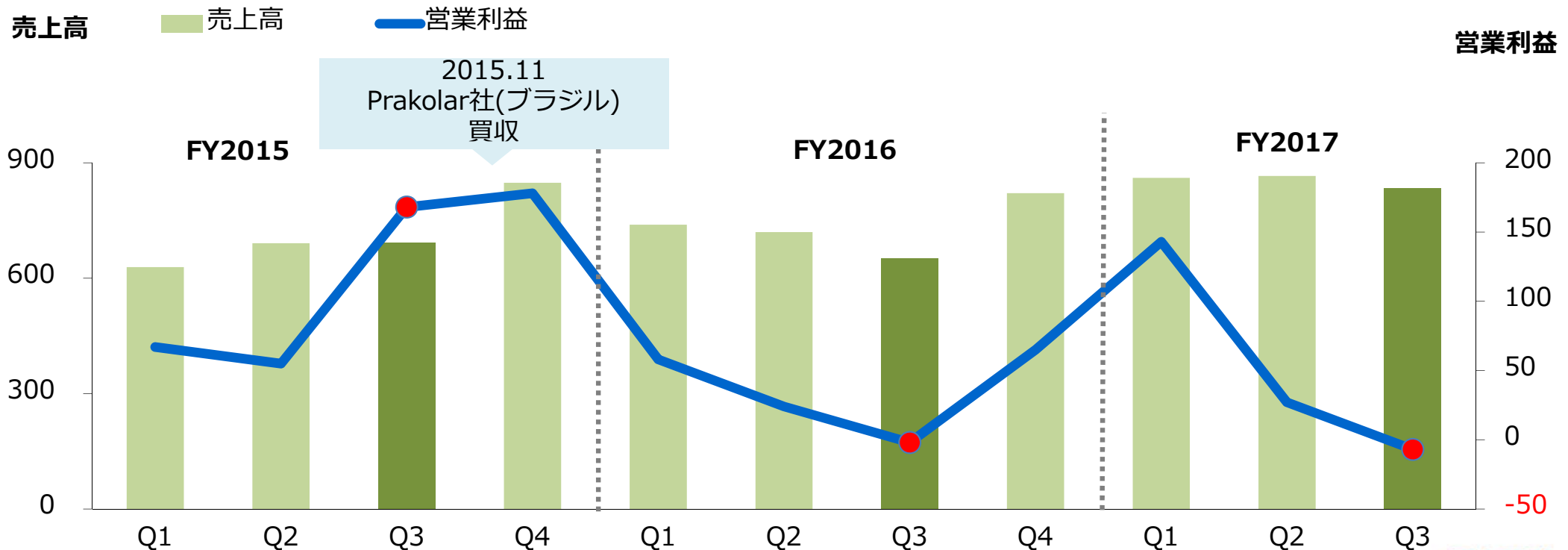
	FY2017	FY2016	増減	%	除く為替
	3Q累計	3Q累計			
売上	8,156	8,019	+136	101.7%	97.1%
粗利額	2,407	2,173	+234	110.8%	--
粗利率 (外壳)	29.5%	27.1%	+2.4pt	--	--
営業利益	336	▲18	+354	--	--
営業利益率	4.1%	--	--	--	--



南米

(単位：百万円)

	FY2017	FY2016	増減	%	
	3Q累計	3Q累計			除く為替
売上	2,562	2,112	+450	121.3%	117.8%
粗利額	966	799	+167	120.9%	--
粗利率 (外売)	37.7%	37.9%	▲0.1pt	--	--
営業利益	163	80	+83	204.5%	193.5%
営業利益率	6.4%	3.8%	+2.6pt	--	--

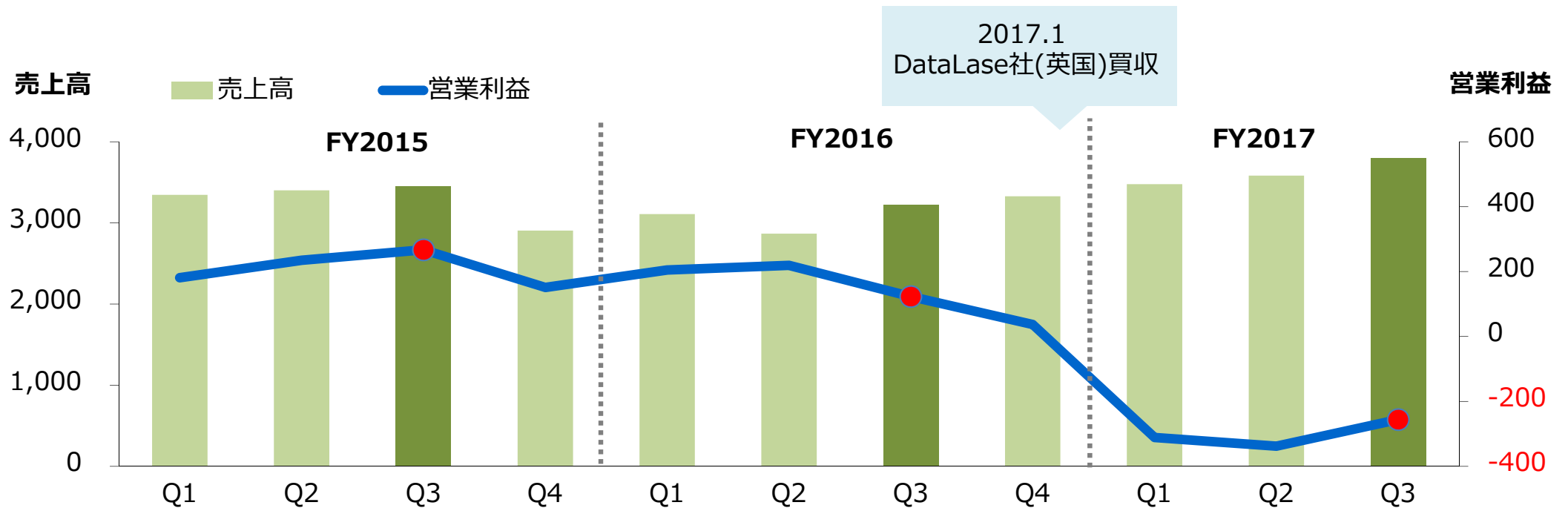


欧州※

※FY2017よりDataLase社連結

(単位：百万円)

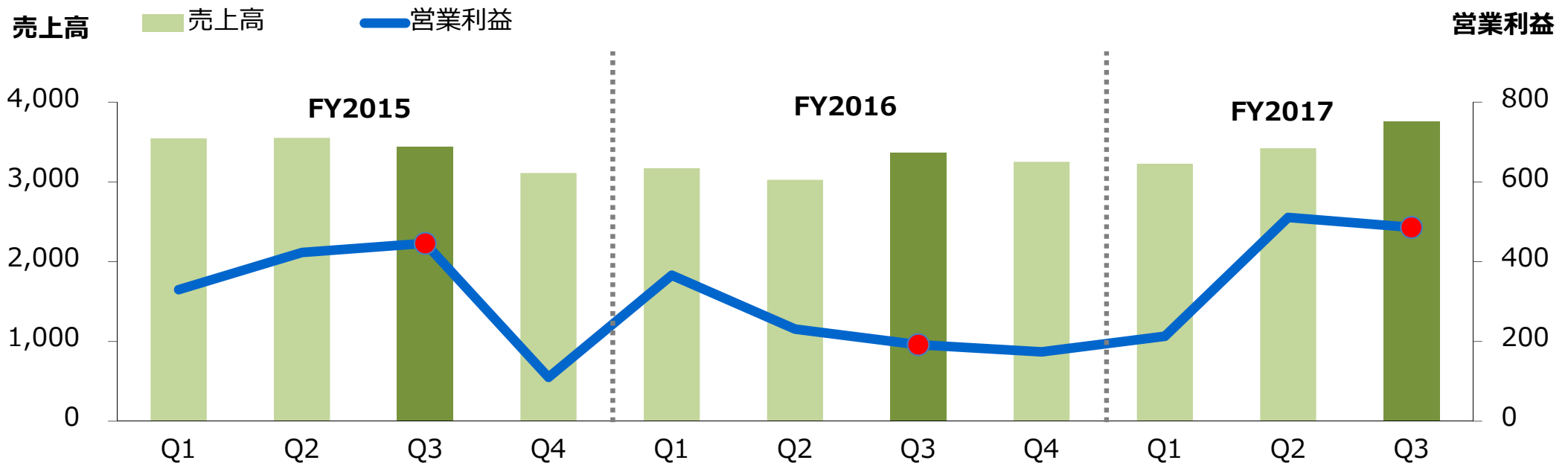
	FY2017	FY2016	増減	%	除く為替
	3Q累計	3Q累計			
売上	10,856	9,196	+1,659	118.0%	106.4%
粗利額	3,577	3,432	+144	104.2%	--
粗利率 (外売)	32.9%	37.3%	▲4.4pt	--	--
営業利益	▲906	547	▲1,453	--	--
営業利益率	--	6.0%	--	--	--



アジア・オセアニア

(単位：百万円)

	FY2017	FY2016	増減	%	除く為替
	3Q累計	3Q累計			
売上	10,409	9,568	+841	108.8%	101.9%
粗利額	5,073	4,530	+543	112.0%	--
粗利率 (外売)	48.7%	47.3%	+1.4pt	--	--
営業利益	1,210	790	+420	153.1%	145.0%
営業利益率	11.6%	8.3%	+3.4pt	--	--



用語集 (1/4)

サトー独自のコンセプト/取組		説明
1	自動認識ソリューション事業 (コア事業)	DCS & Labeling+Oneを展開。具体的には、お客さまの現場課題に基づいて自社で開発・製造したバーコードプリンタやラベル、自社で設計したソフトウェアやサービス、外部パートナー仕入れ商品などを組み合わせて提供。現場で人やモノに可変情報をタギングして情物一致を実現。 本事業は日本と海外に区分され、海外はベース事業とプライマリー専業から構成。
2	自動認識ソリューション事業 海外：ベース事業 プライマリー専業	自動認識ソリューション事業の海外は、「ベース事業」（現場で可変情報をタギングするビジネス）と、「プライマリー専業」（飲料や日用品などの商品のラベル：固定情報を扱うビジネス）に分けて管理。 プライマリー専業は買収したAchernar（アルゼンチン）、Prakolar（ブラジル）、Okil（ロシア）から構成。
3	素材事業	「エコナノ」や「IDP」に使用する特殊な素材の開発・製造・販売。
4	タギング	人やモノにIDなどの情報を紐付ける物理的な作業。個々に異なるお客さまの現場で、多様なモノに情報を紐付けるには、豊富な「現場力」に裏付けられた自動認識ソリューションの実践的ノウハウが求められる。
5	最後の1cm [®]	あらゆるモノがネットワークにつながるIoT(Internet of Things)実現のためには、個々に異なる現場で多様なモノにIDなどの情報をタギングし、信頼できるスモールデータを収集することが不可欠。サトーはこれを仮想（ITシステム）と現実（人、モノ）をつなぐ「最後の1cm [®] 」と捉えて事業領域とし、「正確・省力・省資源・安心・環境・感動」という価値を提供。
6	DCS & Labeling+One (DCS: Data Collection Systems)	バーコードやRFIDなどの自動認識技術とバーコードプリンタやラベルなどの商品・サービスを活用して、さまざまな現場にある「人」や「モノ」の情報（=Data）を的確かつ効率的に収集（=Collection）する仕組み（=Systems）と、情報を最適な形で紐付けるタギング（含むLabeling）を提供するサトーのビジネスモデル。 お客さまニーズの高度化を受けて、オープンなイノベーションやパートナーシップを活用し、本ビジネスモデルに音声認識や位置測位技術などの「+One」を組み合わせる顧客価値をさらに向上させる取り組みを推進中。
7	情物一致	現物と情報を一致させること。商品に価格という情報をタギングする「ハンドラベラー」の時代から、情物一致はサトーの事業コンセプトである。
8	現場力	自らお客さまの現場へ行き、運用を理解し、解決すべき課題の本質を捉えて最適な解決策を提供する力。

用語集 (2/4)

サトー独自のコンセプト/取組 (続き)		説明
9	三行提報	社員が現場でキャッチした、会社を良くするための情報やアイデアを三行（127文字）にまとめて、毎日経営トップに直接提出するサトー独自の仕組み。経営トップはいち早く社内外の環境変化を把握し、迅速な意思決定や必要な施策を講じることができることに加え、社員が経営者と同じ目線で物事を考える「全員参画の経営」を実現。また役職や勤続年数に関係なく全社員が提言できることから、不正や不適切な行為などを防ぐモニタリングとしての役割も担っており、コーポレート・ガバナンスの面においても効果を発揮。 1976年から始まり、近年は海外拠点の導入も増えている。
10	素材革命	独自の技術「エコナノ」「インライン・デジタル・プリンティング（IDP）」を用いて、素材レベルでお客さま価値を飛躍的に高める取り組み。
商品・サービス名・技術		説明
1	メカトロ商品	バーコードプリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラー等のハードウェア、ソフトウェア、保守サービス等。粗利率はサプライ商品よりも高い。
2	サプライ商品	ラベル、タグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど。粗利率はメカトロ商品よりも低い、リピートビジネスのため販売管理費は小さい。
3	自動認識ソリューション	自動認識技術を用いて情物一致を実現し、「最後の1cm [®] 」をつなぐための商品・サービスの提供。具体的にはバーコードプリンタ、ラベル、ソフトウェア、保守サービスなど。加えて、近年は複雑化・多様化する顧客ニーズに応えるために自前主義を廃し、オープン・パートナーシップを促進。例えば自動認識技術と位置測位技術を掛け合わせて人・モノのタグの位置情報を取得し、在庫や作業者の動きをリアルタイム捕捉することで製造工程進捗管理や工数・作業時間の見える化を実現するなど。
4	CLNXシリーズ	2014年（日本のみ2015年）発売のグローバルプリンタ。「現場を止めない」をコンセプトに高い堅牢性、誰もが簡単に使えるユニバーサル性、業界初のIoTを用いた保守サービス「SOS（SATO Online Services）」を備える。
5	SOS (SATO Online Services)	お客さまのプリンタをクラウドにつなぎ、モニタリングやメンテナンスを行うサービス。これにより予防保守やエラー時の早期復旧が可能となる。また導入したプリンタの稼働・活用状況を一覧で可視化することができ、資産管理が容易となる。 一方サトーにとっては、予防保守の実現による保守人員の労働生産性向上や、保守人員が少ない海外におけるサポート向上が期待できる。

用語集 (3/4)

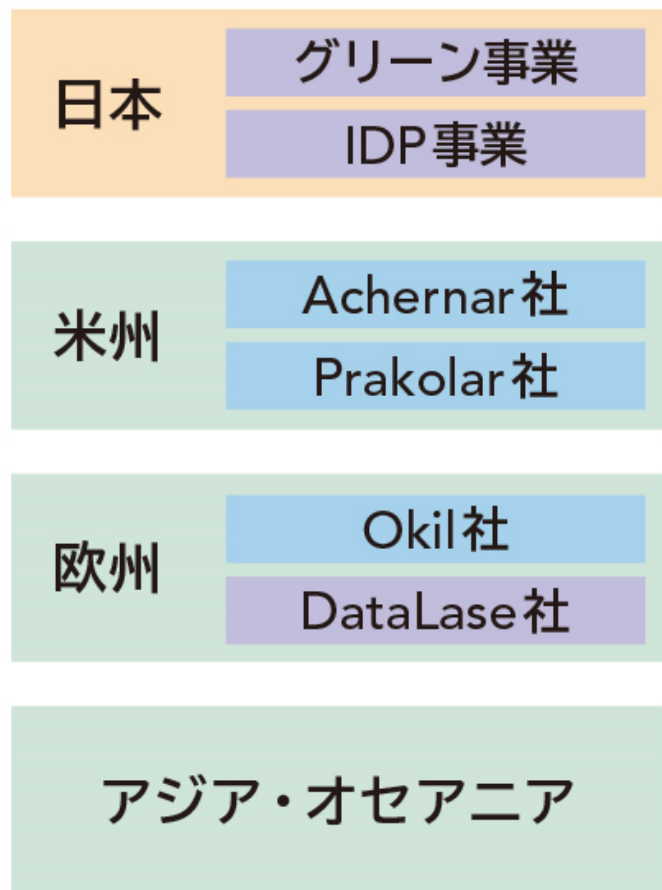
商品・サービス名・技術 (続き)		説明
6	AEP (Application Enabled Printing)	プリンタにインストールされたラベル発行プログラムにより、PCレスで発行を実現。プリンタ単体での上位システムとの連携が可能。
7	可変情報ラベル	バーコードや商品の価格、製造年月日や消費期限などの一つ一つ異なる情報を、お客さまの現場で印字する用途のラベル。プリンタで必要な時に必要な分だけ発行できる点が、印刷機で一度に大量の固定情報を印刷するシールとの大きな相違点。
8	RFID (Radio Frequency Identification)	自動認識技術の一つ。電波を利用して非接触でデータの読み書きを行い、①複数一括読み取りができる、②離れた場所から読み取りができる、③タグが遮蔽物があっても汚損していても読み取りができる、④情報の書き換えができる、といったバーコードには無い特性を持つ。これにより、業務効率の飛躍的な向上が実現できる。
9	VISION Retail Platform	IoTやRFIDを用いてこれまでにない顧客体験を提供するリテール向けデジタルソリューション。2014年にハードウェアとサプライの開発・製造・保守までを手掛ける独自の自動認識SI (ソリューションインテグレート) 事業をグローバルに推進することを目的に設立したSGS (SATO Global Solutions Inc.) (米国) が開発。
10	エコナノ	燃焼時に発生するCO ₂ を空気中に放出せずに炭素の塊として灰に残留させる、東京理科大学と共同開発したナノ技術。さまざまなモノに添加することが可能で、食品や衣料のパッケージやラベルなどで実用化されている。
11	IDP (Inline Digital Printing)	特殊な感熱顔料を含む塗料をさまざまな素材に塗布し、レーザー照射により発色させることでダイレクトに印字ができる革新的な印刷技術。印字に要するインクやラベルが不要なため、貼り作業や在庫管理業務、廃棄物を削減するとともに機器のメンテナンス作業負荷を軽減。コストダウンと生産性向上、環境負荷低減を実現。また可変情報を製造工程の最終段階で印字できることから、消費者一人ひとりに向けたパーソナライズされた情報を伝達することも可能なため、マーケティング用途にも適用可能。マーケティング用途に不可欠なマルチカラー技術は2020年の確立を目指してXeroxグループなどと開発中。

用語集 (4/4)

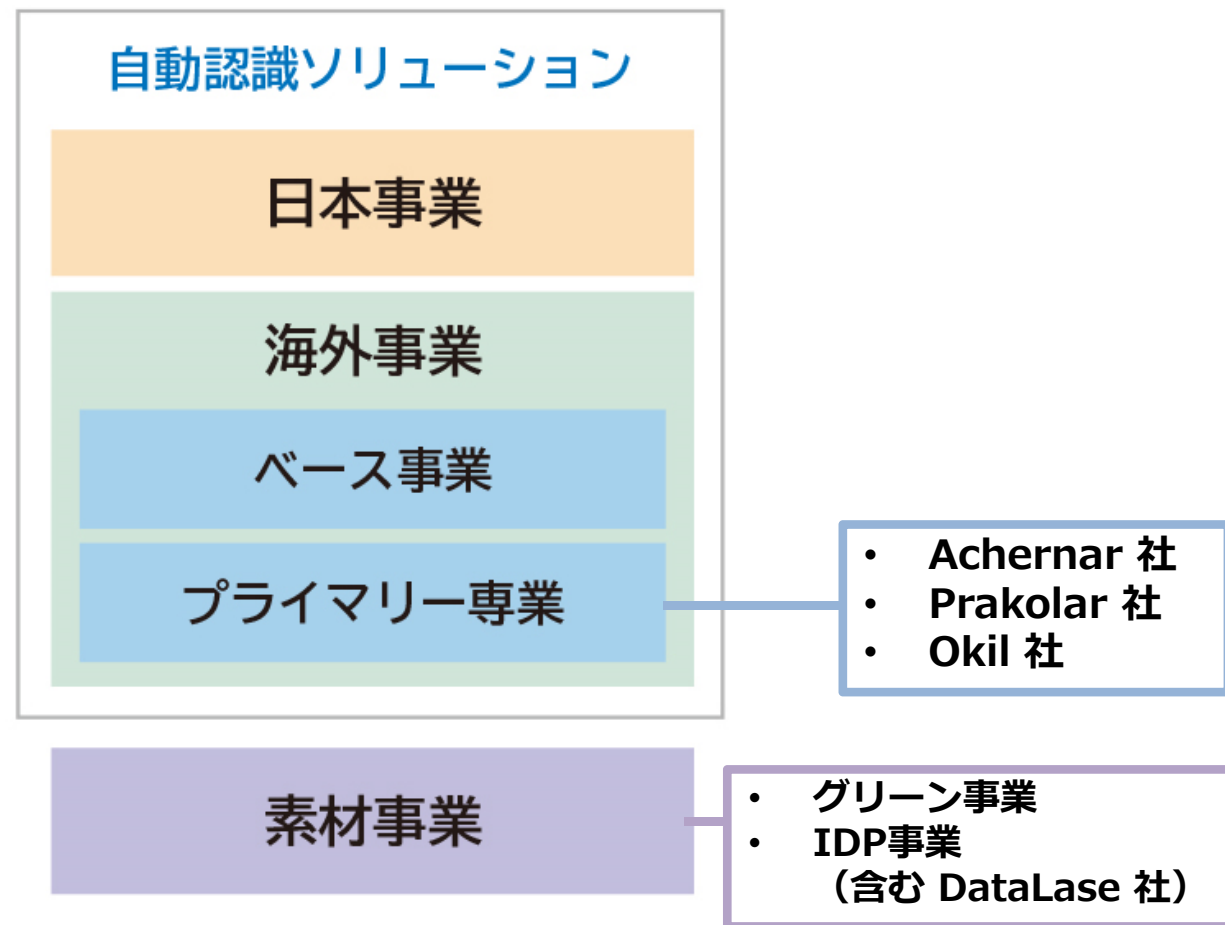
2012年以降買収した主な会社		説明
1	Argox Information Co., Ltd. (台湾)	2012年に買収したエントリーモデルのプリンタの開発・製造・販売子会社。
2	Achernar S.A. (アルゼンチン)	2012年に買収したプライマリー専門子会社。
3	Magellan Technology Pty Ltd. (オーストラリア)	2013年、大量のタグを高速かつ正確に読み取ることができ、金属や液体の影響、および積層状態での重ね読みに強いなどの独自性の高いRFID技術「PJM(Phase Jitter Modulation)」を含む同社の事業の譲渡を受け、SATO Vicinity Pty Ltd.を設立。
4	Okil-Holding, JSC (ロシア)	2014年に買収したプライマリー専門子会社。取得株式75%。
5	Prakolar Rótulos Autoadesivos LTDA. (ブラジル)	2015年に買収したプライマリー専門子会社。
6	DataLase Ltd. (英国)	2017年に完全子会社化したインライン・デジタル・プリンティング用感熱顔料の開発・製造・販売子会社。

事業セグメント

2016年度まで(地域別)



2017年度から(事業別)





【本資料ご利用にあたっての注意事項】

- ・本資料に記載の内容は全て2018年2月現在の情報をもとに作成したものです。・本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
- ・本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、弊社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
- ・本資料の内容に関する一切の権利につきましては弊社に帰属し、本資料の全部または一部を弊社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。